

【年表】小堀の渡し(おおほりのわたし)～100年の歩み～

明治		大正			昭和								平成								
40年	45年	3年		9年	22年	27年	30年	42年	45年	47年	50年	55年	56年	元年	8年	11年	13年	14年	17年	26年	
1907	1912	1914		1920	1947	1952	1955	1967	1970	1972	1975	1980	1981	1989	1996	1999	2001	2002	2005	2014	
利根川改修工事開始	北相馬郡取手町で渡船場新設 計画の記事”目下協議中なり”	5月27日付「いはらき」	新河道(現在の利根川)に 通水され小堀地区は対岸へ分断	取手町・井野村(小堀地区) 住民により渡しの運航が開始	利根川改修工事終了	取手町が井野村を編入	この頃、木船「さくら丸」就航	町村合併により取手町誕生 (1町4村)	取手町長が小堀区長に船頭 選任を委託(町営化)	市制施行に伴い市営へ	鉄船「とりで」(初代)就航 木船「さくら丸」は代船へ	待合所設置(小堀側)	木船「とりで3号」 ※代船として購入	待合所設置(取手側)	鉄船「とりで」(二代目)就航 ※現在の「とりで」号	利用を一般客へも開放 (生活関連者優先)	小堀循環バスの運行が始まる (小堀住民の足は渡船からバスへ)	「取手市小堀の渡し運航条例」施行	運航を民間業者へ委託 (水郷ボートサービス株式会社)	取手市・北相馬郡藤代町が合併	小堀の渡し運航100周年
かつての利根川は大きく蛇行していた為、洪水による被害が絶えませんでした。その為、河道を直線にする改修工事がおこなわれました。																					
																					
改修工事前		改修工事後		撮影年不明 「さくら丸」		昭和47年6月 初代「とりで」号進水式の様子		(平成11年以前) 通勤・通学の様子		平成22年12月撮影 現在の二代目「とりで」号											
工事の結果、地続きであった小堀地区は、利根川により分断されました。このことがきっかけとなり、交通の不便を感じた地域住民が渡し舟を出したことが「小堀の渡し」の始まりと想定されています。																					
行政区	北相馬郡井野村				北相馬郡取手町		北相馬郡取手町		取手市						取手市						
利根川	旧河道		新河道(現在の形)																		
渡船	改修工事期間(堤防含む)																				
運営	地域住民による民営								町営 → 市営 (昭和46年まで小堀地区へ委託。昭和46年より市直営)								市営(民間委託)				
船舶	※記録なし(サツバ舟)				木船「さくら丸」(動力船)				鉄船「とりで」(初代)				鉄船「とりで」(二代目)								
利用	小堀住民および生活利用者のみ												一般客へも開放(観光・遊覧)								